

県政報告

発行 静岡県議会 会派「平成22」
～平成22年4月 春 No.4号～
文責 掛川市選出県議会議員 戸塚久美子

報告 No.4号 目次

- P1** 2月定例議会(予算編成)
21年度2月補正予算
私の一般質問
- P2** 22年度当初予算
お知らせ
- P3** 公約進捗度チェック
県政トピックス1、2
- P4** 一般質問代表質疑・答弁集
議員活動メモ
編集後記
連絡先

2月定例議会 当初予算可決成立

川勝知事、初めての予算編成

2月23日から開会された定例議会は、緊急経済対策の補正予算やその補正に関連する21年度分の条例や請負契約及び指定管理者指定議案などを先に成立させて、景気への配慮をしたのちに、22年度当初予算の18の議案、及び20の条例関連議案、その他議案を入れて計45議案を審議しました。21年度分及び22年度の議案総数は90議案でした。3月8日には国からの交付金、及び教育長人事案件等の追加議案が提出されました。

今回は、川勝知事が初めて編成された当初予算であることから、予算の特徴をご報告します。(尚、主な個別の予算は、P2～P3に記載します)

①命を守る危機管理(耐震・インフルエンザ・防災・土木災害予防等) ②有徳の人づくり、あこがれを呼ぶふじの国づくり(教育・環境・観光・共生・文化芸術) ③一流のものづくりとものづくりの創造(食と農・新産業・雇用対策・耕作放棄・農林業振興) ④「和」を尊重する暮らしの形成(地球温暖化防止・定住・多文化共生) ⑤安心の健康福祉(子育て・医療・高齢者福祉・

で生み出した187億円の財源も景気対策の為に歳入に入れて活用するという選択をしています。(基金残高は68億円程度) 歳出では以下の重点施策を中心に据えての予算配分となっています。

21年度最後の補正予算

雇用対策や地域医療再

行政委員会委員の報酬が日額に変更する条例などの議案が審議され全ての議案が可決成立しました。

生等の国の補正予算に伴う238億9100万円の増額補正を行うこと、及び、人件費や災害復旧費などの減額を合わせてするもので、総額では182億1700万円の減額補正となりました。よって、21年度最終一般会計予算額は1兆2238億2700万円となりました。

私の初めての一般質問

待ちに待った一般質問の登壇は3月4日の午後でした。

質問のテーマは「静岡県茶業の革新的改革を求めて」というもの。市議会議員の時から課題であり、「掛川市にとって、また静岡県にとって、お茶は一つの農産物という枠を超えたもの」という考えの下、25分の持ち時間の全てを使い半年間の調査研究の全てを出し切ろうと努力したつもりです。

し、地域コミュニティを支えてきました。また②生産流通の集積地である本県は茶業の経済におよぼす波及効果は高く、例えば機械、肥料などの資材、燃料、運輸、包装資材など、地域経済のけん引役としての茶業の役割は大きいのであります。そして③ふるさとの山や川のある農山村は、水源涵養や環境保全の多面的機能を持ち、都市で暮らす人々の生活を守ることにつながります。さらに④日本中全てにある茶業ではなく、本県の特微的産業で、場の力に支えられ、世界へ広がる無限大の可能性のある機能性の高い飲料であるからです。

美味い掛川茶・静岡茶を消費者へ何時までもお届けしたいものです。最後のチャンス、今しか改革は間に合わないのです。後では後悔することになってしまいます。

私からの質問を通しての提言は以下の通りです。

「お茶が静岡県を好きだから」と言ったのは小学一年生の女子の言葉であります。お茶が必要とする資源「場の力」を持つ静岡県であるはずなのに、この一〇年間の厳しい実態は誰もが心配するようになってきています。このままでは場の力を形成してきた「人、物、資本、社会環境、自然環境」の全てを失うかもしれません。これは茶業に關係のない方々にも大きな問題であると感じています。どこにも負けない

①生産現場の革新的改革 ②ビジネス経営体への移行によって高齢化著しい生産体制を担い手へ集約する行為は認めるものの、その中身に問題があり、強い経営組織体へ脱皮できないでいるのが本県の実情であり、再生への再編成が急務であること。③流通現場の革新的改革 ④静岡茶市場は創設から52年。社会の変化に対応できない形態になっている為、市場の力は衰退しマーケット全体が閉塞感に陥っている、市場の自由化を目指す必要があること。⑤茶関連組織の再編成 ⑥茶業組織も半世紀続いているものも。実践的戦略の本県茶業の処方箋が描ける組織の創設は急務であること。④中山間地域直接支払い(所得補償)制度の茶への拡大 ⑤市場経済の中ではどうしても市場力学に負けてしまうエリア



命を守る危機管理

- 県有建物の耐震化事業費 44億2,500万円
- 私立学校地震対策緊急整備事業 3億円
- 社会福祉施設耐震化事業時助成 17億3,000万円
- プロジェクト「TOUKAIO」支援事業 9億200万円
- 医療施設耐震化臨時特例事業費助成 3億1,300万円
- 津波シアター等整備事業費 5,000万円
- 原子力学会議等運営費 400万円
- 防災無線デジタル化推進事業費 2億2,400万円
- 新型インフルエンザ対策事業 6億1,800万円
- 災害予防対策河川・ダムなど 約130億円
- 災害予防高潮対策・海岸保全 約24億円
- 災害予防砂防地すべり急傾斜対策 約117億円

当初予算の規模

一般会計	1兆1,265億円	前年度対比	99.5%
特別会計	4,093億79百万円	//	85.9%
企業会計	563億11百万円	//	87.6%
合計	1兆5,921億90百万円	//	95.2%

一般会計の歳入歳出の姿

主な歳入		主な歳出	
県 税	3,700億円 (▼19.4%) (法人2税 626億円 ▼47.7%)	義務的経費	6,374億円 (▼0.1%)
地方交付税	1,555億円 (+8%)	人件費	3,805億円 (▼2.5%)
県 債	2,153億円 (+35.9%) (臨時財政対策債 1,510億円 +87.1%)	扶助費	752億円 (6.1%)
その他:一般財源等	1,542億円、国庫 支出金 1,240億円、その他の 特定財源 1,071億円他	公債費	1,729億円 (2.6%)
		災害復旧費	86億円 (6.1%)
		投資的経費	1,708億円 (▼8.2%)
		その他: 県債残高は2兆円を超えている。 交付税措置される臨時財政対策債を含 めると県債残高は2兆円を超える。	

一般会計歳出予算の分析

- ① 義務的経費 総額は6,374億22百万円
人件費が給与改定の減等により2.5%の減、扶助費が介護給付費県負担金の増などにより6.1%の増、公債費が元利償還金の増などにより2.6%増、災害復旧費は、過年災害復旧費の増等により6.1%の増となっています。歳出予算全体に占める割合は56.7%で、前年度対比0.3ポイント上昇しています。
- ② 投資的経費 総額は1,708億12百万円
公共直轄事業は6.3%の減、県単独事業は10.8%減です。少し例を挙げれば以下のものです。
介護保険関連施設整備事業(65億円) 県立学校等施設費(30億円) 県立学校地震対策事業(27億円) 新規産業立地・工業用地安定供給事業費助成(51億円) 緊急生活支援道路事業(25億円) 緊急豪雨対策事業(25億円) 高規格幹線道路整備促進事業交付金(25億円) 市町村合併交付金(7億円) など。また道路・河川・公園など県民に身近な生活環境整備事業は2月補正などを活用し前年度同額の330億円の事業量を確保しています。
- ③ 税関関連法定経費 総額は1,097億43百万円
県税収入減少に伴い、市町への交付金等が減少する見込みで前年度対比9.5%減。
- ④ その他経費 2,085億23百万円
国の補正予算の基金関連事業が増加したこと等から、前年度に比べ11.9%の増。

※1～4を合計すれば歳出総額1兆1,265億円

22年度当初予算の概要

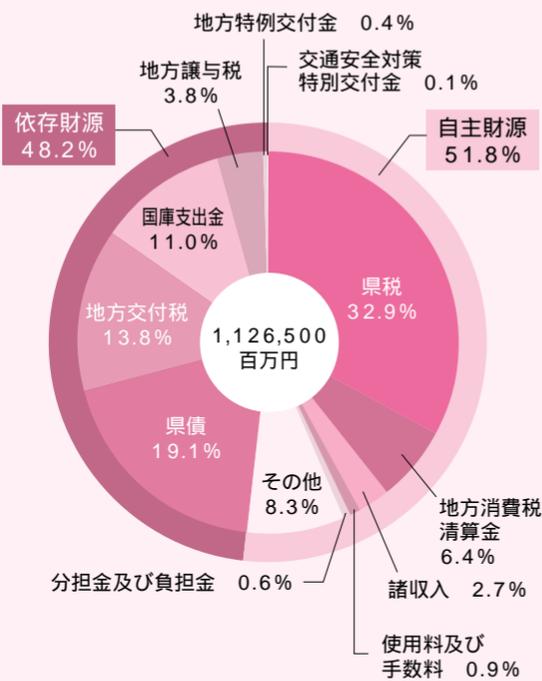
(県資料より抜粋)

人・もの・地域を結ぶ 基盤づくり

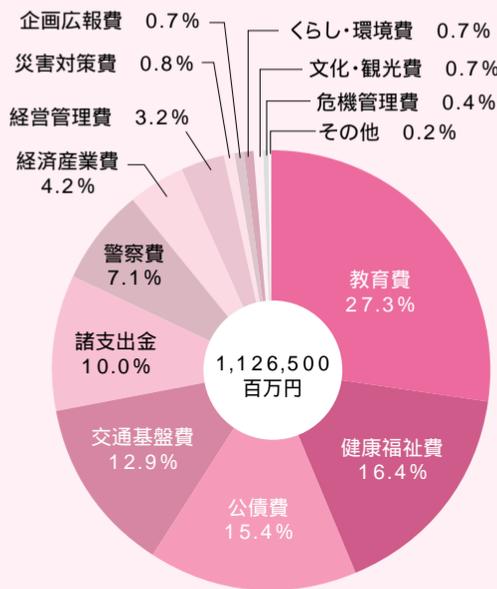
- おもてなしの道・伊豆スカイライン低料金化事業費 2億2,700万円
- 道路施設長寿命化緊急対策事業費 21億円
- 緊急生活支援道路事業費 25億円
- 合併支援道路整備事業費 13億5,000万円
- 沼津駅周辺高架化事業費 4億3,500万円
- 草薙総合運動場リニューアル事業費 8億4,300万円
- 港湾管理費 12億4,000万円
- 空港整備関連事業費 11億4,000万円
- 県単独河川事業費 41億4,200万円



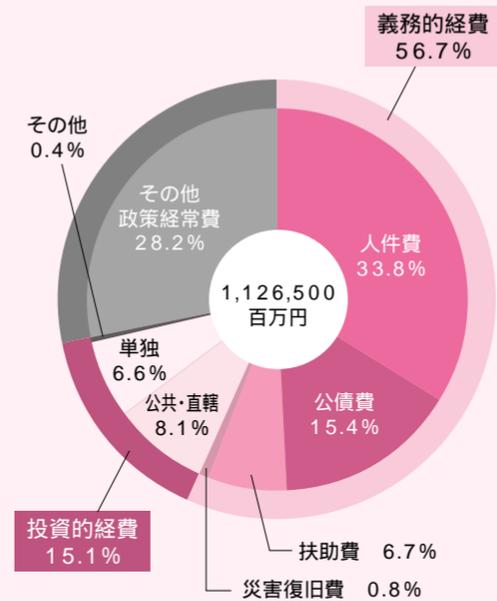
歳入予算構成比(一般会計)



歳出予算構成比(一般会計)



歳出予算構成比(分析別)



建設委員会報告

今回は予算が紙面の大半を占めた為、委員会報告が出来ません。ご了承下さい。以下は質疑された一部であります。

① 遠州灘海岸浸食と天竜川ダム再編事業、② 御前崎港ガントリークレーン事故、③ 入札総合評価方式(橋梁の入札の独占落札問題)、④ 森林再生、⑤ 市町負担金、⑥ 布沢川ダムなどを含め3日間の集中審議を行いました。(※雑感・初めての予算審議に違和感を持ちました。審議方法をもっと少し議論したいと感じています。)

県政トピックス その1

県政トピックス その2

富士山空港の収支の見込み(年間)

収入 着陸料等1億7640万円ほかで合計2億1388万2千円。①

支出 保安関連費1億6000万円、土木施設管理費1億1600万円、航空灯火施設管理費1億8500万円、事務所運営費等1億3290万円、駐車場管理運営費3800万円などで、合計5億6060万円。②

*その他 職員人件費1億2750万円。③

差し引き一般財源で充当する額の合計は、4億7421万8千円。(①②③=合計)



有徳の人づくりと憧れを呼ぶふじくにづくり

- 35人学級編成 国の加配等 451人
- 小学校低学年支援充実事業費 4億2,900万円
- 私立学校経常費・私立専修学校運営費助成 206億800万円
- 私立高校就学支援金等助成 40億2,200万円
- 外国人児童生徒トータルサポート事業費 1億900万円
- 県立大学文化芸術大学運営費助成 約62億円
- 県立学校等施設整備事業 30億4,100万円
- 美術館運営費 4億4,600万円
- ふじの国芸術街道創出事業 3,900万円
- 富士山に係る関連事業 1億1,000万円
- 観光ブランド創出事業 2億3,800万円
- 観光施設整備事業 9億9,500万円
- ふじのくに3776友好訪中事業費 2,300万円
- 空港利用促進ほか関連事業など 約11億円
- 東静岡駅周辺ランドデザイン・大学コンソーシアム機能検討等事業費 500万円

一流のものづくりとものつかいの創造

- 緊急雇用創出事業 129億6,900万円 (7,250人分)
- 中小企業・農林漁業者向け制度資金 融資枠 2,100億円
- 小規模事業経営支援事業費助成 27億500万円
- 食の都づくり推進事業 2,700万円
- 6次産業化モデル創出支援事業 2,800万円
- 耕作放棄地解消総合対策事業費助成 8,200万円
- 県単独耕作放棄地解消基盤整備事業費 6,000万円
- 茶業振興関連事業費 4,200万円 (世界お茶まつり事業費を除く)
- 森林整備加速化・林業再生事業費 7億5,500万円
- 森の力再生事業 9億8,200万円
- 東部ファルマバレー関連 1億5,900万円
- 中部フーズサイエンスヒルズ関連 1,400万円
- 知的クラスター推進事業費助成 2,400万円
- 産業立地推進事業費助成 50億6,500万円

安全な生活と交通の確保

- 交通安全対策費 47億8,597万円
- 警察庁舎整備事業費 11億7,590万円
- 犯罪抑止緊急パトロール事業 2億8,030万円
- 生活安全警察活動事業費 4億5,690万円

地域主権を拓く行政改革

- 集中事務管理費運営費 2億3,292万円
- 地域主権推進費 10億9,570万円
- 行政革新戦略推進事業費 400万円
- *事業仕分け財源捻出分 30億7,000万円 (静岡新聞調べ)



「和」を尊重する暮らしの形成

- 人と地球にやさしい新エネルギー推進事業費 1億4,100万円
- しずおか新エネルギー推進事業 9,300万円
- 優良木材の家総合支援事業助成 9,300万円
- ふじのくに定住促進事業 300万円
- しずおか農山村交流定住促進事業費 1,000万円

安心の健康福祉

- こども医療費助成 19億3,500万円
- 小児救急電話相談事業 4,600万円
- 富士山っ子応援プロジェクト事業費 12億400万円
- ふじのくに幼保連携促進事業 (待機児童解消) 5億9,000万円
- 多様な保育推進事業費助成 5億1,700万円
- 障害者働く幸せ創造事業 1億300万円
- 介護保険関連施設整備事業費助成 64億7,500万円
- 働きながら資格をとる介護職員雇用支援事業費 9億3,200万円
- 介護職員処遇改善事業費交付金 46億3,700万円
- 看護職員等確保対策事業費 2億1,800万円
- ドクターヘリ運航事業助成・夜間運行検討事業費 4億2,500万円
- 地域医療再生基金関連事業費 6億3,000万円
- 医師確保対策関連事業費 8億2,200万円

知事スローガン
『ふじのくに』づくり
「生んでよし 育ててよし」の理想郷づくり
「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり
「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり



私の公約進捗度チェック

公約としての活動指針	7月・8月の活動内容	自己評価
自立する地域社会の確立	国への要望(農村の自立あるコミュニティの維持に向けた環境整備)	A B C D E
みんなで笑顔のまちづくり	障害者福祉についての市民からの2つの課題調査	A B C D E
専門性広域性をもって諸課題解決への模索	一般質問にて ●静岡県茶業再生への提言 知事マニフェストを通じて ●担当した厚生関連施策の検証 掛川市との連携活動において ●IT情報格差の是正への活動方法の模索	A B C D E

お知らせ

平成22年度 静岡県職員採用試験

以下の表のような実施日程です。なお募集職種や採用予定人員などの詳細は試験ごとに「詳細情報発表日」発表されます。奮って受験ください。明日の静岡県を創造するのはあなたです。問い合わせは県庁人事委員会事務局へ。

平成22年度 静岡県職員採用試験日程

試験の区分	詳細情報発表日	申込受付期間	第1次試験日	第1次合格発表日	第2次試験日	最終合格発表日		
静岡県職員採用試験 (大学卒業程度)	5月18日(火)	5月19日(水)~6月7日(月)	6月27日(日)	7月9日(金)	7月下旬~8月中旬	8月下旬		
静岡県小中学校事務職員採用試験 (大学卒業程度)	5月18日(火)	5月19日(水)~6月7日(月)	6月27日(日)	7月9日(金)	7月下旬~8月中旬	8月下旬		
静岡県職員採用試験 (高校・短大卒業程度)	6月4日(金)	8月9日(月)~8月27日(金)	9月26日(日)	10月4日(月)	10月中旬~10月下旬	11月中旬		
静岡県小中学校事務職員採用試験 (高校卒業程度)	6月4日(金)	8月9日(月)~8月27日(金)	9月26日(日)	10月4日(月)	10月中旬~10月下旬	11月中旬		
静岡県職員採用選考選考 (障害者)	6月4日(金)	8月9日(月)~8月27日(金)	10月17日(日)	10月28日(木)	11月中旬	11月下旬		
静岡県警察官採用試験	A(大学卒業)	平成22年10月採用予定	3月23日(火)	3月23日(火)~4月9日(金)	5月9日(日)	5月17日(月)	6月中旬~6月下旬	7月上旬
		平成23年4月採用予定	3月23日(火)	3月23日(火)~4月9日(金)	5月9日(日)	5月17日(月)	5月17日(月)	8月中旬~8月下旬
	B(高校卒業程度)	平成23年4月採用予定	7月9日(金)	7月20日(火)~8月4日(水)	9月19日(日)	9月30日(木)	10月下旬~11月中旬	12月上旬

「代表質問・一般質問」質疑・答弁集

今議会は二週に渡り、誠に登壇質問者が多く、予算に係るものや、多彩な政策提言が行われました。僅かな抜粋ですが以下ご報告いたします。

び県民に情報提供する。

② 看護師確保対策は？

答弁：ナースプラクティショナー（診療が出来る看護師）は過剰な勤務医の仕事の軽減や医師不足を補うこともできる可能性があり前向きに研究する。県立大学看護学部での履修化（養成コース設置）も検討する。

■ 予算編成

① 県税収入の見込みは？

答弁：税収は前年度当初予算対比19・4%減の3700億円を計上

② 知事マニフェストの600億円の捻出は？

答弁：今回捻出した187億円は景気対策や35人学級、及びこども医療費助成、社会保障費などに有効活用した。今後も行政改革や県有財産の処分などで財源捻出に努める。

■ 行財政改革

① 事業仕分け

答弁：来年度は政策的経費全般の見直しに努めるが、文化・研究・学術・芸術の事業には費用対効果は測定できない。静岡にあった仕組みをつくる。

■ 医療政策

① 子宮頸がんワクチン接種費助成は？

答弁：ワクチンは昨年10月に国が認可。助成の在り方検討する。及

■ 雇用政策

① 障害者就労支援は？

答弁：ワンストップで相談できる「障害者働く幸せ創出センター」を開設し、NPOに管理運営を委託する。県も各課横断して支援していく。

■ 農業政策

① 茶業振興は

答弁：茶市場の改革や茶業組織の新しいものも模索する。

② 農業振興策は

答弁：農芸品ブランド化を推進する。域内完結の内需拡大6次産業の振興に努める。

■ 環境政策

① 温泉発電の調査とは？

答弁：温泉付近に発電機を設置し、温度が下がった発電に使った温泉を入浴ようにして使い仕組みが出来ないかを調査する。

② 介護施設整備は？

答弁：緊急経済対策の介護基盤緊急整備基金を活用して22年度は本年度4億7600万円を64億7500万円へ大幅増額へ。2286床の整備を進める。

■ 空港経営

① 企業会計収支は

答弁：空港管理費として透明化を図る。ランニングコストは7億円弱。収入見込みは着陸料他で1億9千万円。

■ 市町の自治（防犯）

① 警察施設の計画的設備は？

答弁：22年に袋井、24年に裾野、その後浜松西を整備していく。

② エスピー君安心メール配信の登録者は？

答弁：まだ5000人を超えた所。不審者情報・振り込め詐欺防止・街頭犯罪情報などに検挙情報なども加えていく。

■ 人権問題

① 県営住宅の入居者資格

答弁：公営住宅法の同居親族要件を廃止する方針が国から示され、国の動きを注視し、解雇等で住宅を失った方の利用なども適切に対応する。

■ 文化政策

① 国文祭後の文化政策は

答弁：経済効果は178億円、文化活動相談窓口開設する。

■ 観光政策

① 中国との交流は

答弁：上海万博へ3776人参加できる仕掛けをする。

■ 危機管理

① 次期防災通信ネットワークの整備は？

答弁：デジタル化の設計を来年度中に、H23から工事を進める。26



三熊野神社大祭

年には完了させたい。市町とも共用できるよう呼びかけている。

② DIG、HUGを使った防災人材育成は？

答弁：凶上において被害発生をイメージし、また避難所の運営を想定したりして、被災後の事態への迅速な対応や解決能力の養成が出来ると考え役立たせていく。

③ 広域化はどうか？

答弁：県の計画を変更し、市町村長の意向を尊重する。8つの消防本部、6〜7の通信司令センターになると想定している。

議員活動メモ

事柄	内容	詳細
議 会	2月定例議会	一般質問「静岡茶業の革新的改革を求めて」
常任委員会	2月定例会議案審議建設委員会	委員会付託議案審議 予算審議、建設委員会所管重要施策質疑
調 査 (調査課 依頼事など)	依頼事案 調査課への調査依頼 その他(自主勉強他)	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の社会保険、ウォーキング活動推進、県営住宅、地域通貨、中山間地直接支払い、 なし 防災における女性への配慮、地域社会雇用創造事業(NPO)、栄養教諭研修、県立大学(マーケティング・臨床研究)、地域医療、茶関連調査
学習および 市との連携	各部局との意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 厚生部(予防医学・薬学)(ドクターヘリ)(障害者通所施設)(厚生行政全般)(ナースプラクティショナー) 産業部(茶業問題・一般質問) 県民部(道路環境基準)(県立大学) 建設部(天竜川ダム再編事業)(道路)(森の再生事業)(御前崎港クレーン事故) 危機管理局(地域防災計画)(広域消防) IT地域格差是正(和田岡)、国保会計関連、木造駅舎対応、障害者の介護通所施設、浄化槽関連
市と協働活動		
会派内研究	知事マニフェスト工程表作成ワーキング	4年間の実施工程を探り、知事へ提言
国要望	農水省への提言	食料・農業・農村基本計画(新5力年)中、農村の多面的機能維持へ地域活動推進要望
その他公務 及び その他活動		出初式、成人式、各種団体賀詞交歓会、各種団体定例総会、幼・保育園卒園式、県立大学他卒業式、原泉小閉校式、各地春の例大祭、3回の予算折衝、男女共同参画フォーラム、掛川ソフトボール協会50周年、御前崎港事故現場視察、美術館アート、協働の底力事例発表会、日中友好協会春節会、原子力協議会、武道大会、駅舎保存会、富士山世界遺産フォーラム、ものづくり道場、環境の集い、時の寿樹祭、障害者トランポリン全国大会

編集後記

市議会で審議した予算審議とは違ったもので、審議のかたち不十分と感じています。このままの審議方式で継続されるならば、もう少し私の勉強の方法を考え直さなければならぬと思います。

「県政報告」をどこまでもお伺いいたします。御声をお掛けください。一生懸命ご報告させていただきます。

戸塚久美子事務所

どうぞ県政の為に皆さまのご意見をお聞かせください。また公共性が高い要望もお受けいたします。合わせてご利用ください。

事務所が開いているおよその時間

月～金 午前9時～12時 14時～16時

住 所 掛川市倉真2410番地

電 話 0537-28-0207 (午前中)

f a x 0537-28-0442

Eメール j-kumiko@solid.ocn.ne.jp

ホームページ www.totsukakumiko.com

